

東京都中小企業の景況

(平成30年5月調査)

平成30年5月23日

産業労働局 商工部

業況：一進一退の局面続く

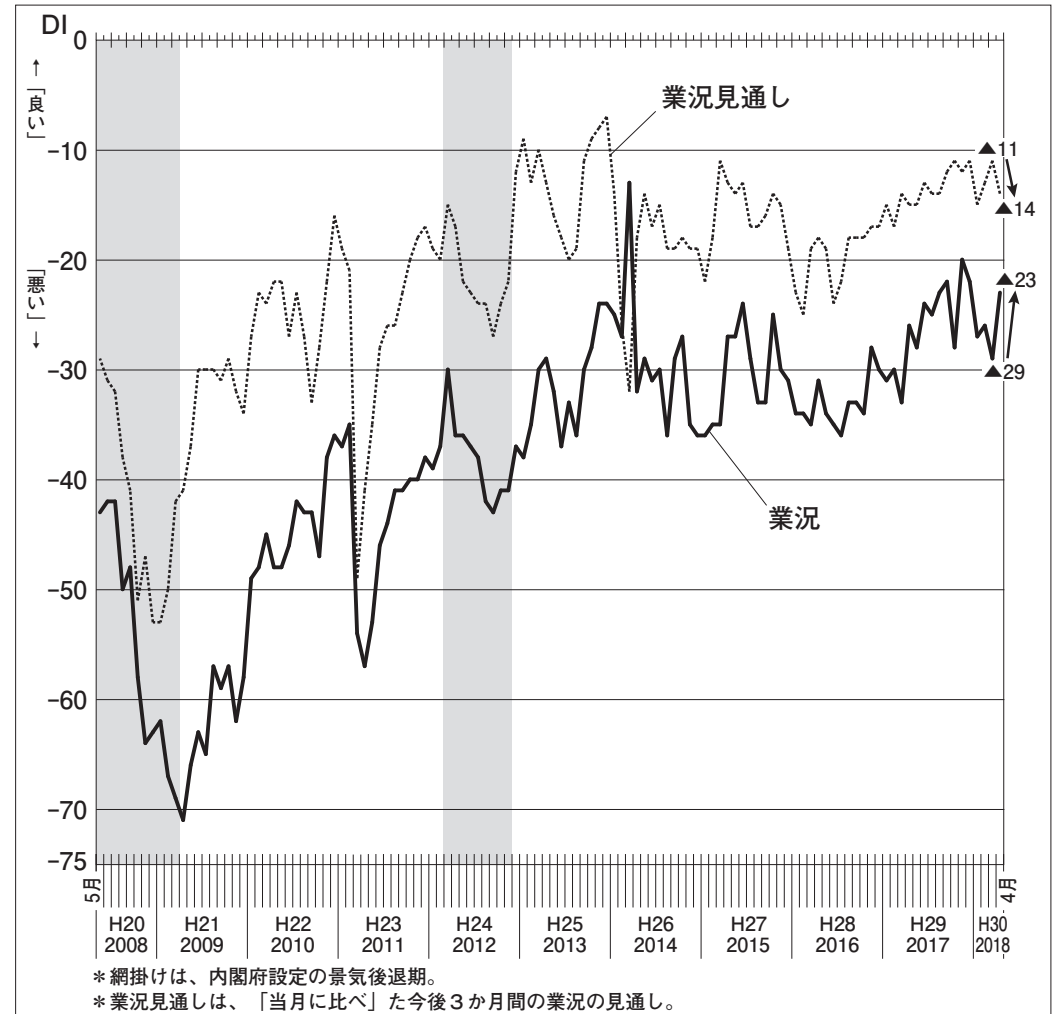
見通し：わずかに後退

《4月の景況》

- 4月の都内中小企業の業況DI（業況が「良い」とした企業割合－「悪い」とした企業割合）は、当月▲23（前月▲29）と6ポイント増加、一進一退の局面が続いている。今後3か月間（5～7月）の業況見通しDI（当月（4月）に比べて「良い」とした企業割合－「悪い」とした企業割合）は、当月▲14（前月▲11）と3ポイント減少し、前月に比べわずかに後退した。
- 業種別の業況DIをみると、製造業（▲27→▲18）は9ポイント増加、小売業（▲48→▲41）は7ポイント増加、卸売業（▲31→▲25）は6ポイント増加、サービス業（▲16→▲12）も4ポイントのやや増加と全業種で業況DIが改善した。
- 業種区分別の業況DIをみると、製造業では「材料・部品」（▲26→▲2）が24ポイントの非常に大幅な増加、「紙・印刷」（▲46→▲34）が12ポイント、「一般・精密機械等」（▲20→▲9）は11ポイントの大幅増加となった。卸売業では、「衣料・身の回り品」（▲51→▲43）及び「機械器具」（▲24→▲16）がそれぞれ8ポイント増加した。小売業は、前月大きく悪化した「日用雑貨」（▲54→▲34）が20ポイント増と大幅に戻した。また、「耐久消費財」（▲52→▲30）が22ポイント増と非常に大幅な増加となった。サービス業は、「個人関連サービス」（▲33→▲20）は13ポイントと大幅に増加したが、「企業関連サービス」（▲9→▲8）は3か月連続でほぼ横ばいの推移となった。
- 前年同月比売上高DI（▲22→▲24）は2ポイントとわずかに減少、2か月連続の改善から悪化に転じた。業種別にみると、サービス業（▲16→▲16）は横ばい、卸売業（▲22→▲23）および小売業（▲37→▲38）は、ほぼ横ばいで推移した。一方、製造業（▲19→▲22）は3ポイントとわずかに減少、2月水準まで戻した。
- 前月比仕入単価DI（8→7）はわずかに減少で推移した。業種別にみると、製造業（16→14）もわずかに減少した。
- 業種別の業況見通しDIをみると、サービス業（▲10→▲9）で1ポイント増加したものの、製造業（▲11→▲12）で1ポイント減少、小売業（▲18→▲27）は9ポイント減少、卸売業（▲7→▲9）で2ポイントとわずかに減少、サービス業以外の3業種で悪化した。

業況DI・業況見通しDI（全体）

(季節調整済DI)



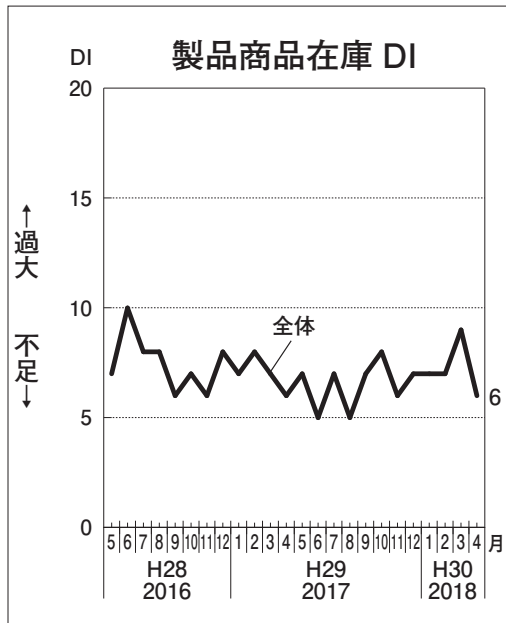
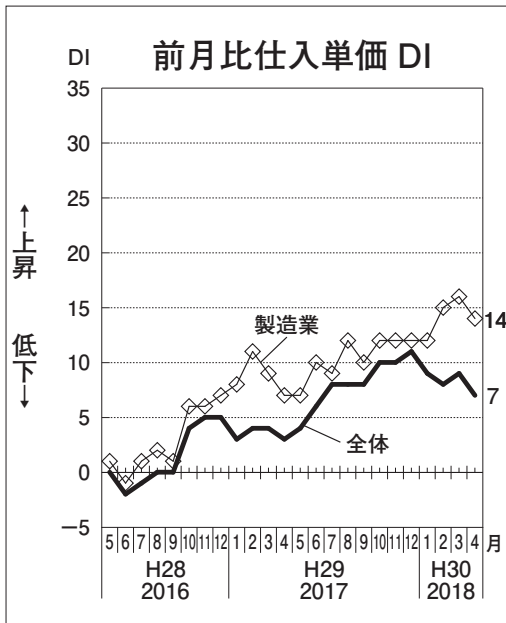
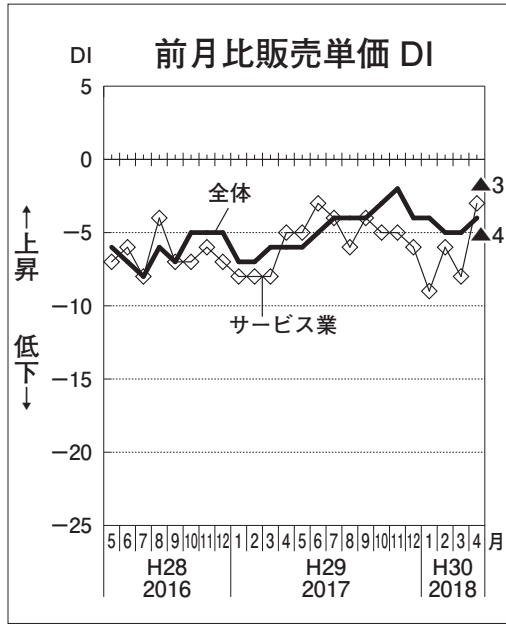
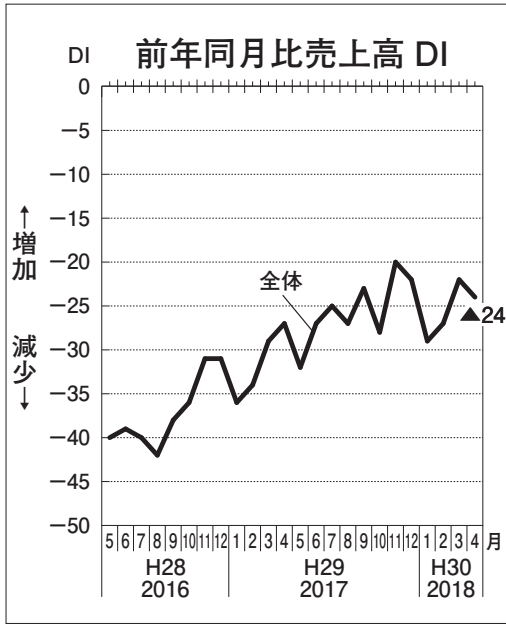
◇ DI (DiffusionIndex: 景況判断指数) X: 「良い」「増加」「上昇」等の回答企業数
指数(%)の算出方法は次のとおりで Y: 「普通」「ほぼ同様」等の回答企業数
ある。 Z: 「悪い」「減少」「低下」等の回答企業数
従って、DIのプラスは景況の好転(売上高の増加等)、
マイナスは景況の悪化(売上高の減少等)を表している。

$$DI = \frac{X - Z}{X + Y + Z} \times 100$$

登録番号 (29) 267

注) 調査票回収期間: 平成30年5月1日～5月10日

主な景況指標 DI



注) 前月比販売単価 DI、前月比仕入単価 DI、製品商品在庫 DI は季節調整済 DI。

景況指数表 (業種)

・指標値 (%) : DI = 「良い」・「増加」等企業割合 - 「悪い」・「減少」等企業割合

調査規模	調査対象企業数	4月の景況						今後3か月間の見通し		
	回答企業数	業	売(前上月比)高	売(前年同月比)高	仕(前月比)単価	販(前月比)単価	製品商品在庫	業(当月比)況	売(当月比)高	売(前年同期比)高
	回答率	況	高	高	価	庫	況	高	高	
全体	3,875	▲23	▲14	▲24	7	▲4	6	▲14	▲10	▲22
製造業	1,415	▲18	▲11	▲22	14	▲5	2	▲12	▲8	▲19
卸売業	36.5%	▲25	▲11	▲23	10	▲1	9	▲9	▲5	▲19
サービス業		▲12	▲10	▲16	—	▲3	—	▲9	▲8	▲15
小売業		▲41	▲25	▲38	▲4	▲10	9	▲27	▲21	▲39
小規模		▲41	▲25	▲38	▲4	▲10	9	▲27	▲21	▲39
中小規模		▲41	▲25	▲38	▲4	▲10	9	▲27	▲21	▲39
大規模		▲41	▲25	▲38	▲4	▲10	9	▲27	▲21	▲39
規模不明		▲41	▲25	▲38	▲4	▲10	9	▲27	▲21	▲39
企業関連サービス		▲8	▲8	▲12	—	0	—	▲6	▲7	▲11
個人関連サービス		▲20	▲16	▲24	—	▲12	—	▲16	▲10	▲23
衣料・身の回り品		▲36	▲20	▲34	▲1	▲13	▲3	▲1	7	▲20
住宅・建物関連		▲24	▲28	▲45	11	0	0	1	▲6	▲26
紙・印刷		▲34	▲22	▲44	11	▲8	3	▲28	▲22	▲48
材料・部品		▲2	▲1	▲5	19	▲1	5	▲8	▲7	▲3
一般・精密機械等		▲9	▲3	▲16	18	▲7	4	▲11	▲11	▲11
電気機器		▲15	▲8	▲17	14	0	0	▲19	▲11	▲13
その他		▲16	▲3	9	29	▲5	▲3	▲21	▲9	▲32
食料品		▲29	▲14	▲31	6	4	12	▲12	▲5	▲18
日用雑貨		▲46	▲16	▲37	3	▲10	7	▲11	▲5	▲33
建築・住宅関連		▲14	5	▲21	17	3	7	▲1	2	▲17
化学・金属材料		▲12	▲13	▲6	26	10	7	▲3	1	3
機械器具		▲16	▲10	▲5	▲2	▲5	4	0	▲2	▲7
衣料・身の回り品		▲43	▲25	▲45	1	▲9	20	▲37	▲26	▲51
食料品		▲51	▲27	▲45	▲4	▲9	▲1	▲31	▲27	▲48
日用雑貨		▲34	▲15	▲31	3	▲7	11	▲19	▲10	▲40
耐久消費財		▲30	▲16	▲47	▲8	▲15	17	▲18	▲19	▲30
余暇関連		▲45	▲35	▲48	▲1	▲5	10	▲30	▲17	▲40
企業関連サービス		▲8	▲8	▲12	—	0	—	▲6	▲7	▲11
個人関連サービス		▲20	▲16	▲24	—	▲12	—	▲16	▲10	▲23

注) 1. 調査項目：業況(良い・普通・悪い)、売上高(増加・ほぼ同様・減少)、仕入単価・販売単価(上昇・ほぼ同様・低下)、製品商品在庫(過大・適正・不足)。

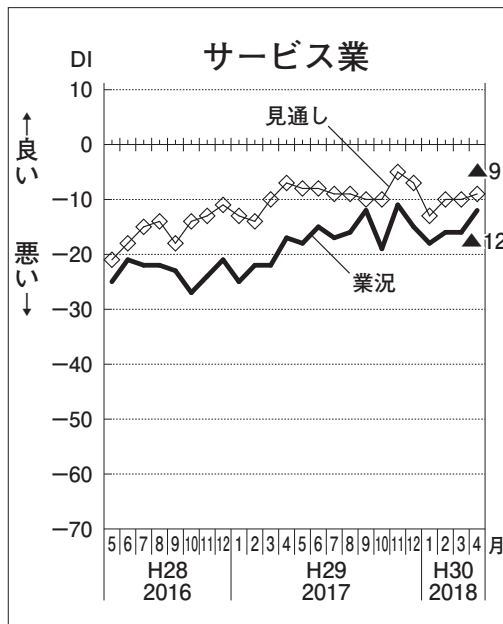
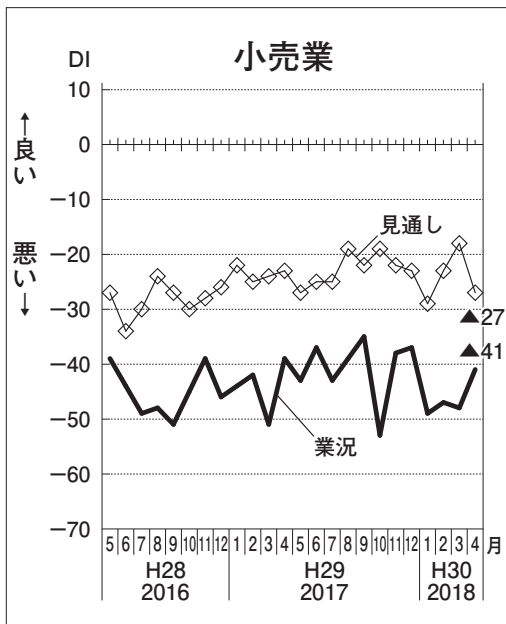
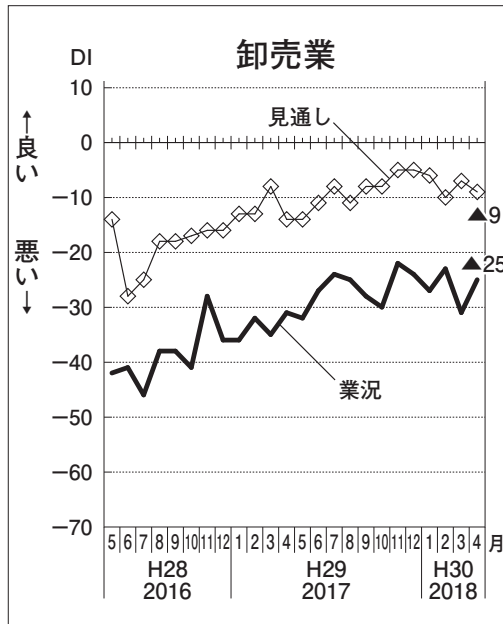
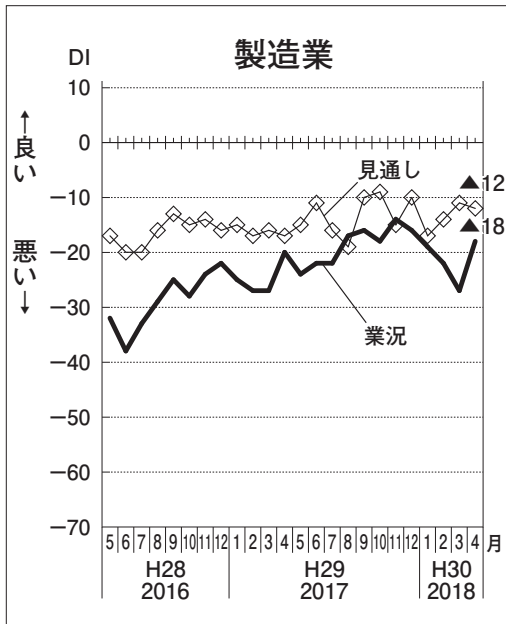
2. 売上高：製造業は生産額。

3. 販売単価：サービス業は料金単価。

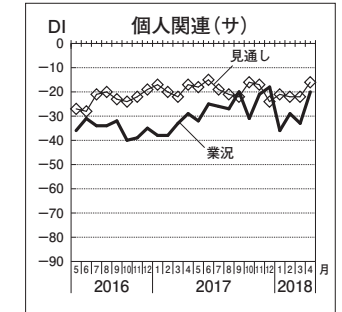
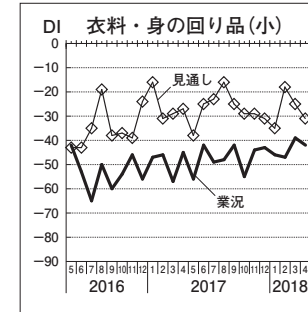
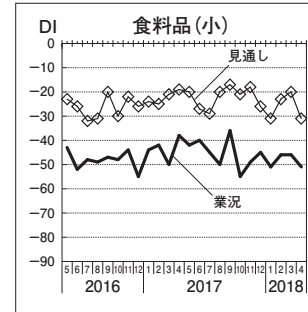
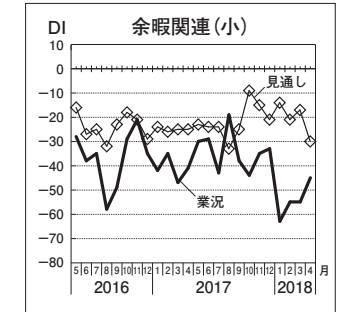
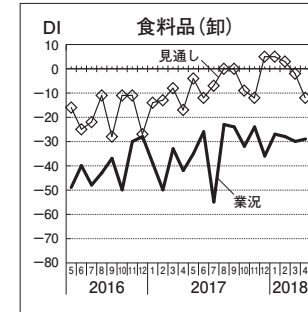
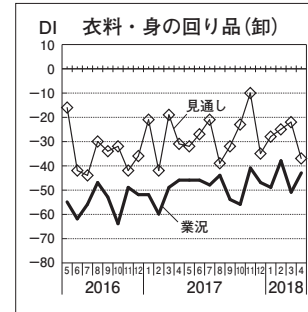
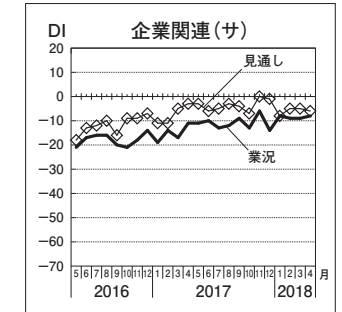
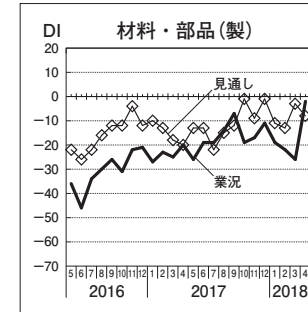
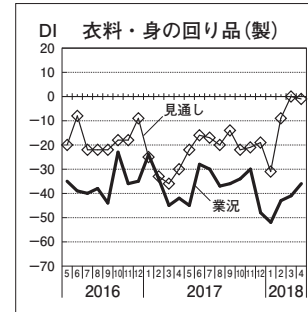
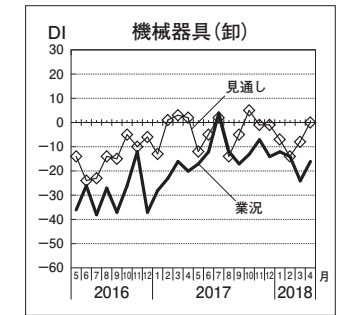
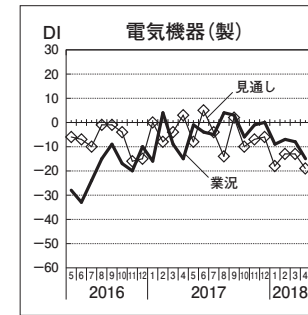
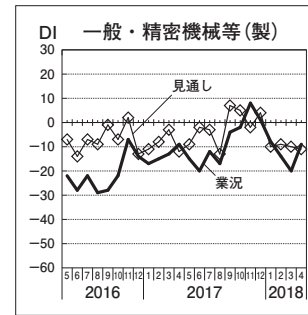
回答企業数

	対象数	回答数	回答率		対象数	回答数	回答率
全体	3,875社	1,415社	36.5%	小規模	1,595社	597社	37.4%
製造業	1,125社	400社	35.6%	中小規模	736社	273社	37.1%
卸売業	875社	369社	42.2%	中規模	792社	335社	42.3%
小売業	875社	297社	33.9%	大規模	514社	200社	38.9%
サービス業	1,000社	349社	34.9%	規模不明	238社	10社	4.2%

業種別：DI グラフ



業種区分別：DI グラフ



注) 季節調整済DI

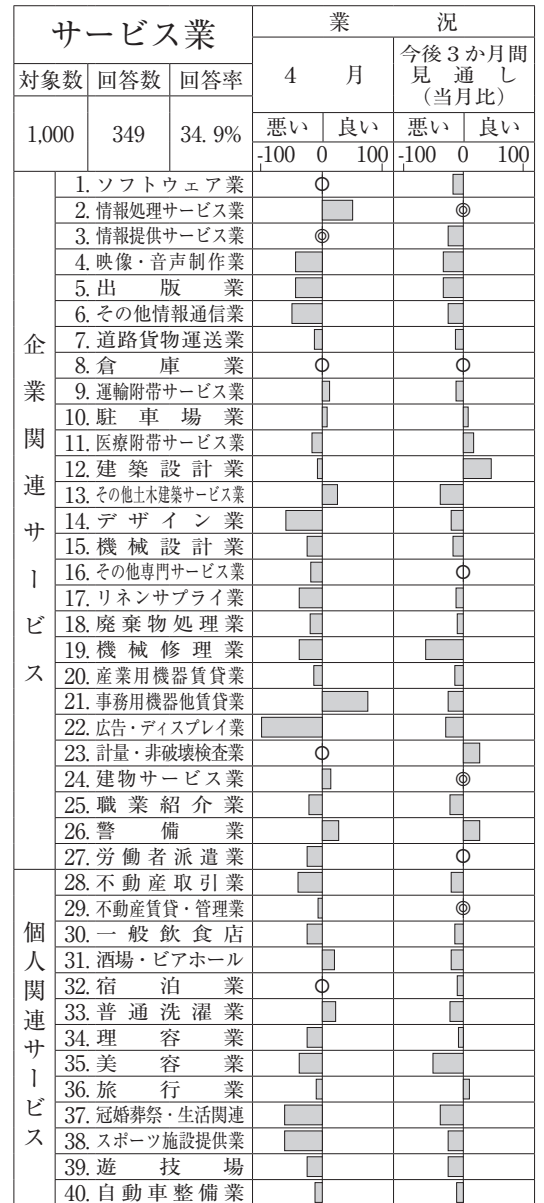
注) 紙面の都合上、一部の業種区分のみ掲載しています。季節調整済DI。
(製)：製造業・(卸)：卸売業・(小)：小売業・(サ)：サービス業

業況DI・業況見通しDI（業種区分別）



◇このグラフのみかた

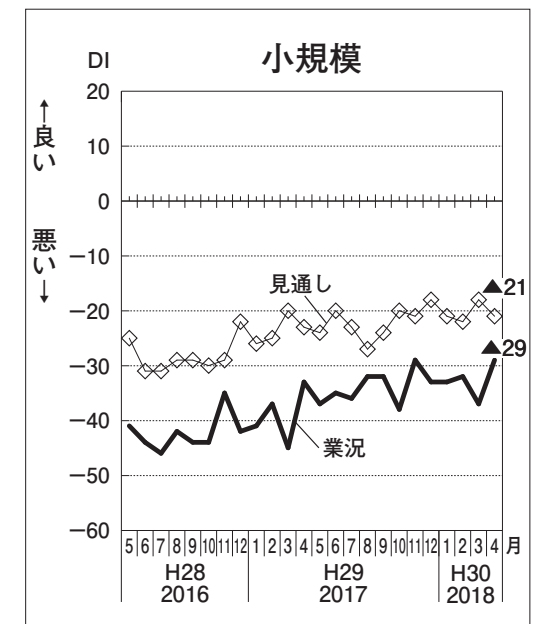
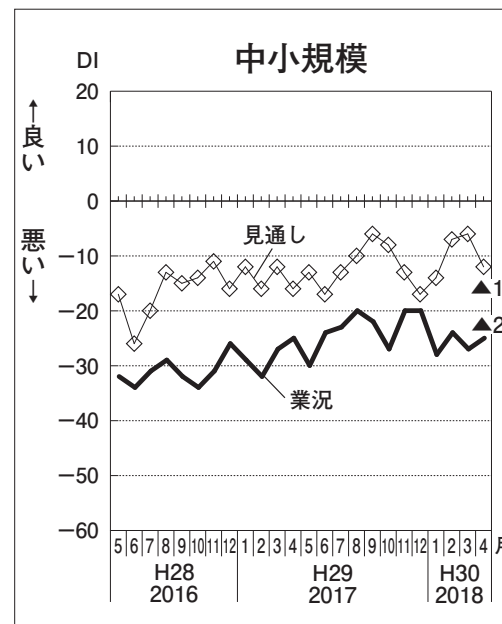
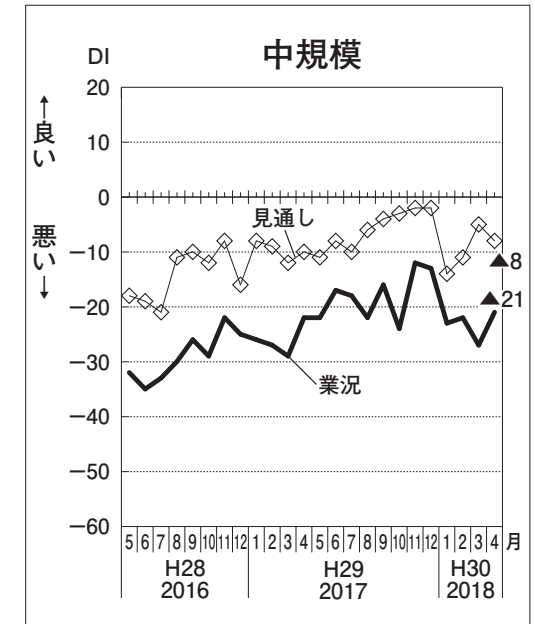
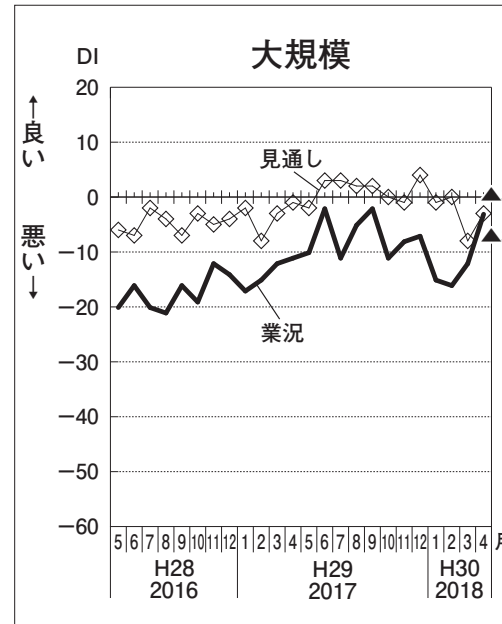
各項目とも0を基準に左右のグラフの長さで業況の「良い」・「悪い」の程度を判断する。
ただし◎印は全回答が「普通」ないしは「ほぼ同様」、○印は「良い」、「悪い」の回答数が同数を示す。



《 規模別景況 》

- 4月の業況DIを規模別にみると、「大規模」(▲12→▲3)は9ポイント増加、「小規模」(▲37→▲29)は8ポイント増加、「中規模」(▲27→▲21)は6ポイント増加、「中小規模」(▲27→▲25)は2ポイント増加した。全規模で改善したのは昨年11月以来である。
- 前年同月比売上高DIを規模別にみると、「小規模」(▲33→▲30)が3ポイント増加、「大規模」(▲4→▲2)が2ポイント増加した。一方、「中規模」(▲22→▲23)は1ポイント減少、「中小規模」(▲16→▲27)は11ポイントの大幅減少となった。
- 当月と比べた今後3か月間(5~7月)の業況見通しDIを規模別にみると、「中小規模」(▲6→▲12)は6ポイント減少、「中規模」(▲5→▲8)および「小規模」(▲18→▲21)はともに3ポイントの減少となった。一方、「大規模」(▲8→▲3)のみ5ポイント改善した。

規模別：DI グラフ



景況指数表 (規模)

・指標値 (%) : DI = 「良い」・「増加」等企業割合 - 「悪い」・「減少」等企業割合

調査規模	調査対象企業数	3,875	4月の景況					今後3か月間の見通し			
	回答企業数	1,415	業況	売上(前月比)	売上(前年同月比)	仕入(前月比)	販売(前月比)	製品商品在庫	業況	売上(前月比)	売上(前年同期比)
	回答率	36.5%									
全体			▲23	▲14	▲24	7	▲4	6	▲14	▲10	▲22
規模	小規模		▲29	▲18	▲30	7	▲7	1	▲21	▲15	▲30
	中小規模		▲25	▲12	▲27	6	▲4	7	▲12	▲10	▲23
	中規模		▲21	▲11	▲23	7	▲3	14	▲8	▲5	▲18
	大規模		▲3	▲8	▲2	13	1	10	▲3	▲2	▲3

注) 規模 小規模：1~9人(製造業、卸売業、サービス業)、1~2人(小売業)
 中小規模：10~19人(製造業、卸売業、サービス業)、3~4人(小売業)
 中規模：20~49人(製造業、卸売業、サービス業)、5~19人(小売業)
 大規模：50人以上(製造業、卸売業、サービス業)、20人以上(小売業)

注) 季節調整済DI